

都市空間政策概論第4:「都市と環境(I)」シラバス

トータルコーディネーター:藤田 壮

担当教員:藤田壮、片山浩之、滝沢智、栗栖聖、小熊久美子、橋本崇史、佐藤弘泰、飛野智宏

11月1日～11月22日 工学部14号館 141講義室、またはハイブリッド講義

火曜6限(18:40-20:05)・火曜7限(20:10-21:35)

□ 講義の目的

持続可能な都市の形成のためには、地球環境問題の制約の中で安全かつ快適な都市環境および生活環境を将来世代にわたって創造していくことが必要になる。いまや多様な環境問題を把握した上で都市のプランニングを行うことが必須となっている。本講義では、そのような環境問題の今日的な課題、計画技術・工学技術の修得を目的とする。「都市と環境」の講義は全体を2部に分け、第1部である「都市と環境(I)」においては、都市環境の概論と水環境を主として対象とする。なお、S1/S2タームに開講される第2部は、都市と環境のうち、大気・熱環境と都市環境リスク・廃棄物を主とした内容である。

□ 講義項目

1. 都市環境概論: (1)、(2)、(3)、(4)

2. 都市水インフラと水環境: (5)、(6)、(7)、(8)

(1)地球環境問題の中の都市	藤田 壮 教授	11月1日6限
(2)都市とサステナビリティ	片山浩之 教授	11月1日7限
(3)都市環境の現状と改善	滝沢 智 教授	11月8日6限
(4)都市環境の価値と評価	栗栖 聖 准教授	11月8日7限
(5)浄水処理概論	小熊久美子 准教授	11月15日6限
(6)都市への水供給	橋本崇史 准教授	11月15日7限
(7)下水道概論	佐藤弘泰 教授	11月22日6限
(8)健全な水環境	飛野智宏 講師	11月22日7限

□ 理解すべき事項

地球環境と都市の関連、サステナビリティの考え方など含めて、さまざまな都市環境が抱える問題やその評価についての概要を理解する。また、水環境の関連から、都市水インフラである水道と下水道の仕組み、その水処理関連技術、水環境保全の基礎を学ぶ。

□ 成績評価

それぞれの教員が課すレポート(合計2題を選択)をもとに、出席状況を加味して評価する。

レポート課題の選択は以下のように行う。

項目1:都市環境概論の担当教員がそれぞれ出す課題から1題を選択

項目2:都市水インフラと水環境の担当教員がそれぞれ出す課題から1題を選択

(課題提示:11月末、レポート締め切り1月10日(火))